

# 矢口シニアいきいきサロン

11月19日(火)、大田区民プラザ地下小ホールにて「ギター弾き語り与健康体操」が行われました。演奏は大田区在住のシンガーソングライター・フィットネスインストラクターのミアイリさん。美空ひばり、加山雄三、坂本九の懐かしい昭和歌謡を聴き、一緒に歌いました。また、軽妙なおしゃべりにも魅了されました。演奏の合間には、指折りや股関節等を鍛える体操を行いました。最後に「上を向いて歩こう」を大合唱、アンコールの声にも応えていました。とても楽しいひと時をありがとうございました。



指折り体操



集合写真

# 矢口中学校2年生 職場体験

10月2日～4日まで矢口中学校2年生の職場体験が行われ、下丸子三丁目にある理容店「BEACH」でも生徒を受け入れました。

- 08:50 出勤
- 08:50～09:50 助手(お客様ご来店の為)
- 09:50～10:20 朝礼、挨拶練習、外掃除、タオル干し、タオル畳み
- 10:20～11:00 鉄の開閉練習、新聞紙切り
- 11:00～12:00 助手(お客様ご来店の為)
- 12:00～12:45 昼休憩
- 12:45～13:00 新聞紙切りの続き
- 13:00～14:00 助手(お客様ご来店の為)
- 14:00～14:40 カット練習
- 14:40～14:45 休憩
- 14:45～15:00 パーマの練習



鉄の開閉練習



カット練習

最終日もお客様ご来店が続いたので、助手をしてもらいました。想像以上に立ち仕事が多かったので疲れたみたいですが、頑張っていました。鉄の開閉練習など慣れてきて、上手に出来ていたと思います。3日間ありがとうございました。

# 衆議院選挙の区割り変更と投票率

10月27日(日)衆議院議員選挙が行なわれました。今回の選挙では1票の格差是正のための区割り変更が行なわれ、大田区内では従来の第4区と新たに設けられた第26区の2つの選挙区に分割されました。矢口特別出張所管内の殆どの地域は目黒区と併せて第26区に属することになり、大田区内に22の投票所が設けられ、残る48投票所は第4区の投票所となりました。

この第26区の22投票所の有権者数は約19.4万人に対し、11.6万人が投票を行い、投票率は59.7%で7月に行われた都知事選挙の時とほぼ同じでした。投票所別に見てみますと、前回1位だった矢口中学校は、4ポイントほど低下して64.31%でしたが70投票所の中では今回も1位でした。第4区の48投票所は42.7万人の有権者数に対し投票者数は、22.3万人で投票率は52.28%であり第26区の投票率の高さが目立つ結果となりました。

今回の選挙では、「政治とカネ」の問題が主な争点となり、攻める野党と守る与党の構図となり、与党の過半数割れで政局が不安定になっています。

今年夏には都議会議員選挙、参議院議員選挙が予定されています。政治にも関心を持ち、次回の選挙では投票率向上に期待したいものです。

# 受賞おめでとうございます

- ◆全国民生委員児童委員連合会会長表彰  
永年勤続民生委員・児童委員表彰 一般功労賞  
平川 利和(下丸子四丁目町会)  
松原 真理(東京サーハウス自治会)
- ◆東京都社会福祉大会  
東京都社会福祉協議会会長表彰  
北田 四郎(矢口二丁目16号館自治会)
- ◆第74回“社会を明るくする運動”  
民間協力者感謝状  
東京都推進委員会委員長感謝状  
今泉自治会 婦人部  
大田区立多摩川小学校3年生  
大田区立矢口西小学校
- ◆大田区青少年対策地区委員会 永年功労者表彰  
石田 里花(東京サーハウス自治会)
- ◆日本善行会秋季善行表彰  
【団体】18色の緑づくりの会(矢口地区委員)  
【個人】篠塚 凱章
- ◆大田区自治会・町会長大会感謝状  
(在職40年以上)  
齋藤 保夫(矢口二丁目16号館自治会)

## <編集後記>

昨年8月、南海トラフ地震の臨時情報が初めて発表されました。能登半島地震が起きて1年。火災も多い時期です。本号は学校防災活動拠点の防災訓練、地域の防火・防災訓練の記事満載です。防災を再認識した

り、地域の訓練などに参加していただけなら幸いです。編集を行う会議室を12月からコロナ禍前の小会議室へ移動しました。モニターで原稿添削、紙面割の移動が一目瞭然で、一同感動しました。(安美留 美津子)



# 餅つき大会 開催

つきたての美味しいお餅をいただきました。



12/1(日)下丸子四丁目町会 12/8(日)矢口北町会



# 地域情報紙

# 矢口トーク

The Yaguchi Talk

発行 地域力推進矢口地区委員会  
編集 矢口トーク編集委員会  
事務局 矢口特別出張所地域力推進係  
〒146-0093 大田区矢口2-21-14  
電話(3759)4686 FAX(3759)1492  
ホームページアドレス  
https://www.city.ota.tokyo.jp/kamata/ts\_yaguchi 過去の矢口トークはこちら

|                      |         |    |          |
|----------------------|---------|----|----------|
| 矢口特別出張所管内の人口(1月1日現在) |         |    |          |
| 人口                   | 44,253名 | 世帯 | 23,999世帯 |

## 新年おめでとうございます 矢口地区自治会連合会会長 山本幸男

各位におかれましては、巳年の新春を恙なくお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は矢口地区自治会連合会の事業行事にひと方ならぬご理解ご協力を賜わり御礼を申し上げます。さて昨年は、4年前に発生し私達の日常生活に脅威を及した新型コロナウイルス感染症も、ようやく沈静化に向かいコロナ前の日常を取り戻しつつあります。しかしながら誠に残念なことでありますが、この間に地域住民の疲弊が進み、町会加入者の退会が表面化しつつあります。退会者に遺留を促すも効果があがらず、他への波及が心配されるどころです。日常的に厄災が絶えない我が国であります。昨年元旦に発災した能登半島地震への対応が急務となり、被災住民が総力を上げて復旧への取組みの最中、9月に入り被災地を襲った集中豪雨がもたらした複合災害、三歩進んで二歩下がる作業状況でいまだ土砂に埋ったままの集落、水道の復旧もない状況で冬を迎えています。また昨年は、我が国をとりまく環境について、地球温暖化を肌で感じる年になりました。2年続きの夏日の増加は、春と秋が短くなったことを実感させられた出来事でした。日本列島をとりまく海水温の上昇は、台風発生数の増加、大型化、長期化につながり熱帯化が進んでいます。地球温暖化は、もう後戻りが出来ないレベルにあるともいわれています。また、海水温の上昇は、我が国の水産業に影響を及ぼしつつあることも無視できない状況にあるとも報告されています。最も深刻なのは、北海道周辺におけるホタテの養殖への影響といわれ、このままの高温が続くことにより陸奥湾のホタテ貝の6割が死滅するとの予測が出ています。昨年、3月24日(日)矢口特別出張所・矢口区民センターを会場とする「第十三回二十一世紀桜まつり」を開催しました。コロナ禍と雨天で4回の中止を経て、5年ぶりの開催となり、足の踏み場がない程の来場者で大いに盛り上がりを見せました。次なる「第十四回二十一世紀桜まつり」は、改装となった大田区民プラザに戻り令和7年3月23日(日)の開催に向けて準備に取組中です。～絆・深めよう!広げよう!～を合言葉に、ご来場の皆様にお喜び頂けるよう関係者一同、頑張っています。終わりにあたり各位のご健勝、ご多幸を祈念し年頭の挨拶といたします。



## 矢口地区自治会連合会主催 令和6年度「双盤念仏」特別公開

10月26日(土)、東京文化財ウイーク2024の一環として、延命寺にて第9回双盤念仏特別公開が行われました。「今泉延命寺双盤念仏」は東京23区唯一の無形民俗文化財に指定されています。講堂で大田区教育委員会の黒仁史教育長の来賓祝辞に続き、田島太良学芸員による文化財についてと延命寺双盤念仏の沿革等の講話があり、手拍子による鉦叩き体験の事前練習を行いました。本殿へ移動、延命寺樋口威道住職による礼讃(読経)に続いて演奏が始まりました。鉦と太鼓の絶妙なハーモニーに聴き入り、とりわけ終盤近いクライマックス演奏では、心身ともに清められるような、とても筆舌には尽くせない感動を味わいました。万雷の拍手をもって演奏が終わると、参加者による鉦叩き体験に移りました。今回は次代を担う子どもたちの参加も多く、後世に継承する目的が大きな一歩を踏み出したと実感できました。今回の特別公開では「大田・品川まちなみめぐりガイドの会」の会長以下26名の方々が新田神社などを経て延命寺にいられ、双盤念仏を鑑賞されました。また、イツコム「地モトNEWS」の取材もあり、後日放送されました。松原忠義前区長をはじめ、100名を超える来訪者がありました。第十四回二十一世紀桜まつりにおいて演奏を行います。



子どもたちによる鉦叩き体験



集合写真

矢口トークは「みんなで話し合って、明るく楽しい町づくりをしていきたいと思います」という意味を込めてつけました。

大田区では「18色の緑づくり」を行っており、矢口地区では菜の花とジニア(百日草)を育てています。